

書名	「神社検定」副読本 マンガならわかる!『日本書紀』			著者名			
出版社	扶桑社	ISBN	978-4-594-08496-7	本体価格	¥2,000	発売	2020/6/1
内容	全国約八万の神社を包括する神社本庁監修による「神社検定」は平成24年から始まり、毎年、テーマを設けて全国の会場で行われてきた。いくつかの公式テキストがあり、その中から出題されてきたが、その副読本として初めて「マンガ入門書」が発売された。『古事記』に比べて、どうしても難しいというイメージが付きまとう『日本書紀』。この本は、『日本書紀』において神道的に重要なシーンを中心にマンガでストーリーを紹介し、その意味などは注で解説している。令和2年は『日本書紀』編纂から1300年の年だ。「入門書」よりわかる「入門書」がここに登場した!						

書名	増補改訂 カラー版 お経と仏像でわかる仏教入門			著者名	釈 徹宗/監修		
出版社	宝島社	ISBN	978-4-299-00621-9	本体価格	¥1,280	発売	2020/6/11
内容	お経と仏像を知れば、仏教がわかる! お経は約5000巻にもおよぶ仏典に記されたブツダの言葉。仏像はそんなお経に描かれた仏たちの物語をもとにつくられている。お経の全集『大蔵経』には、政治・経済・社会・心理・風俗・習慣・説話など、載っていない話はなく、読み飽きることはないと言われる。そんな東洋の知恵の宝庫であるお経を、般若心経から法華経、観音経、浄土三部経、大日経など密教経典も含め13経典、仏像と仏教美術の美しいビジュアルとともに紹介し、仏のところに触れる! 仏の教えと悟りが失われ、災害が相次ぎ疫病が流行る法滅の時代を説いた末法思想も増補解説!!						

書名	新版 仏像			著者名	山本勉/著		
出版社	平凡社	ISBN	978-4-582-94600-0	本体価格	¥3,800	発売	2020/6/15
内容	仏像研究の第一人者が日本の仏像の歴史をわかりやすく書き下ろし、500点の図版とともに通観した入門書。2013年に刊行した前著に最新知見を加えて大幅に改訂した最新版。						

書名	六国史以前 日本書紀への道のり			著者名	関根 淳/著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-05902-2	本体価格	¥1,800	発売	2020/6/19
内容	日本古代史の基本史料として絶対的な古事記と日本書紀。だが、古代には「記紀」以外にも数多くの史書が存在した。帝(てい)紀(き)・旧辞(きゅうじ)、天皇記・国記、上宮記(じょうぐうき)など、いまでは本文がほとんど伝来していない史書をとりあげ、周辺の諸史料や政治過程からその実態に迫る。史書としての古事記を批判し、「六(りっ)国史(こくし)」以前の豊かな古代史書の世界へと誘う注目の書。						

書名	万葉集の起源－東アジアに息づく抒情の系譜			著者名	遠藤耕太郎／著		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-102592-0	本体価格	¥900	発売	2020/6/24
内容	恋をしたり、愛する人を失ったりすると、私たちはその心を俳句や短歌に詠もうとする。それは千二百年前に編まれた最古の歌集『万葉集』以来、受け継がれてきた心性だ。『万葉集』では、人を恋しいと思う気持ちはどう歌われているのか。さらに時代を遡ると、それらの歌のルーツはどのようなものなのか。著者は、今も恋歌の歌垣や挽歌の伝統が残る中国少数民族にその原型を求め、日本人の抒情表現の本質を明らかにする。						

書名	大内氏の興亡と西日本社会			著者名	長谷川博史／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-06850-5	本体価格	¥2,500	発売	2020/6/24
内容	十六世紀前半、東アジア海域と京都を結ぶ山口を基盤に富を築き、列島に多大な影響を与えた大内氏。大友・尼子氏らとの戦い、毛利氏の台頭などを描き出し、分裂から統合へ向かう西日本を周辺海域の中に位置づける。						

書名	日本書紀(上)			著者名	井上光貞／監訳 川副武胤 佐伯有清／訳		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-206893-3	本体価格	¥1,300	発売	2020/6/29
内容	わが国最初の正史。720年(養老4年)5月、舎人親王らが完成させた。神代から持統天皇の代までを漢文で編年体で記す。30巻。添えられた系図一卷は散逸。六国史の第一で、『日本紀』とも呼ばれ、『古事記』と併せて「記紀」という。しかし編集に使われた資料は『古事記』のように特定の帝紀や旧辞だけでなく、諸氏や地方の伝承、寺院の縁起、朝鮮や中国の歴史書なども参照している。上巻は、神代(巻第一)～武烈天皇(巻第十六)を収録。						

書名	日本書紀(下)			著者名	井上光貞／監訳 笹山晴生／訳		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-206894-0	本体価格	¥1,200	発売	2020/6/29
内容	わが国最初の正史。720年(養老4年)5月、舎人親王らが完成させた。神代から持統天皇の代までを漢文で編年体で記す。30巻。添えられた系図一卷は散逸。六国史の第一で、『日本紀』とも呼ばれ、『古事記』と併せて「記紀」という。しかし編集に使われた資料は『古事記』のように特定の帝紀や旧辞だけでなく、諸氏や地方の伝承、寺院の縁起、朝鮮や中国の歴史書なども参照している。下巻は、継体天皇(巻第十七)～持統天皇(巻第三十)を収録。						